

漁況予報 いわし

第176号

2013年3～4月漁期
(2013年3月18日発行)

※1 平年：過去5年平均
※2 被鱗体長：口先から尾ビレの付け根までの長さ

= 概況 =

【マイワシ】

神奈川県下の主要定置網におけるマイワシ総漁獲量は、1月が28トン、2月が6トン（速報値）で、ともに前年（1月48トン、2月96トン）、平年※¹（1月42トン、2月102トン）を大きく下回りました。

魚体は、2月には被鱗体長※²（以下同）17～20cmの中羽～大羽マイワシが主体でした。これは2012年生まれの1歳魚および2011年生まれの2歳魚と推定されます。

佐島地区のまき網は、2月に小羽～大羽マイワシ主体の漁獲がありました。

今後もひきつづき、1、2歳魚主体の漁獲が継続すると考えられますが、海況次第で沖合から2歳魚以上の大羽マイワシが来遊する可能性もあります。

【カタクチイワシ】

神奈川県下の主要定置網におけるカタクチイワシ総漁獲量は、1月が79トン、2月が36トン（速報値）で、マイワシ同様、ともに前年（1月128トン、2月499トン）、平年（1月212トン、2月343トン）を大きく下回りました。

魚体は、2月には9～13cmの小型～大型成魚が主体でした。これは2012年生まれの1歳魚および2011年生まれの2歳魚と推定されます。

佐島地区のまき網は、散発的に餌イワシとしての漁獲がありましたが、定置網と同様、低調に推移しました。

今後も引き続き、小型～大型成魚が主体に漁獲されると考えられます。

【シラス】

前号でお知らせしたとおり、当所ではしらす船曳網漁業連絡協議会の協力により、今年もシラスの禁漁期間中（1月1日～3月10日）に、相模湾内で試験操業を実施しました。今年の調査によるシラス漁獲量は、1月の湾東部の海域をのぞき1網あたり10kg以上となり、まとまった漁獲が認められなかった前年を上回る結果となりました。

漁獲物の重量組成は、例年同様カタクチシラス（カタクチイワシ仔魚）が主体で、マシラス（マイワシ仔魚）およびウルメシラス（ウルメイワシ仔魚）は全体の2割未満でした。また漁獲物のサイズは、期間を通じて全長30mm以上の中～大型個体が主体でしたが、3月の調査では一部漁場で、解禁後に漁獲対象となる15～30mmの小

型個体も出現しました。

その一方、親となるカタクチイワシ大型成魚の周辺海域の漁況は、低調に経過していることから、3、4月に漁獲主体となるカタクチシラスの発生量は低水準になると考えられます。

= 予報 =

【マイワシ】

今漁期は、2012年生まれの中羽～大羽マイワシ（17～18cm）および2011年生まれの大羽マイワシ（19～22cm）が漁獲の主体となるでしょう。

今漁期の漁獲量は、1～2月の県内主要定置網の漁獲量から、前年を大きく下回る約42トンと予測されます。

【カタクチイワシ】

今漁期は、ひきつづき小型～大型成魚（10～14cm）が漁獲の主体となるでしょう。

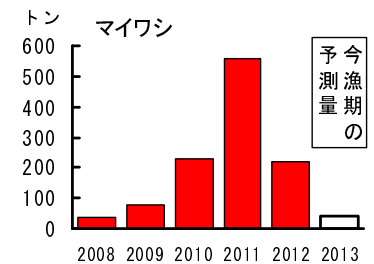
今漁期の漁獲量は、1～2月の県内主要定置網の漁獲量から、前年を下回る約410トンと予測されます。

【シラス】

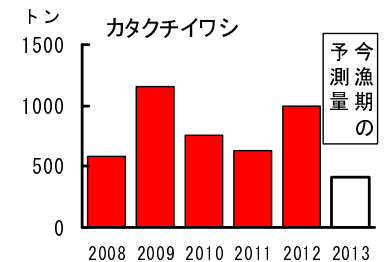
今漁期は、2月以降に生まれたカタクチシラスが漁獲主体となるでしょう。

今漁期の漁獲量は、1～2月の県内主要定置網によるカタクチイワシ大型成魚の漁獲量から、前年並の約45トンと予測されますが、海況により予測値を上回る可能性もあります。

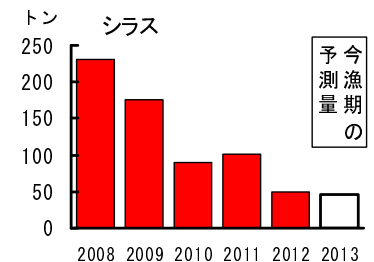
過去5年の3・4月漁期の漁獲量と今漁期の予測量



※グラフ縦軸：主要定置網+まき網



※グラフ縦軸：主要定置網+まき網



神奈川県水産技術センター資源環境部
三浦市三崎町城ヶ島 (046)882-2313